

「スペースシャワー列伝 JAPAN TOUR 2023」終幕！

カネヨリマサル / 帝国喫茶 / プッシュプルポット / yutori がそれぞれの音楽に想いを込めた、多幸感溢れるツアーファイナル！



株式会社スペースシャワーネットワーク(本社：東京都港区 代表取締役社長：林吉人)が運営する日本最大の音楽専門チャンネル・スペースシャワー-TVが「ライブハウスを中心に活躍するインディーズアーティストを、ライブを通してその魅力を全国の視聴者に伝える」というコンセプトの元、2001年より歴史を積み重ねてきた「スペースシャワー列伝」。

次世代のロックシーンを牽引するアーティストの登竜門として20年以上の歴史を誇るこの「スペシャ列伝」の全国ツアーは、現在の音楽シーンの最前線で活躍しているアーティスト達を数多く輩出し、伝説的なライブを繰り広げてきました。

今年の列伝ツアーは、カネヨリマサル、帝国喫茶、プッシュプルポット、yutoriの4組が競演！今回は6月2日の仙台を皮切りに名古屋・大阪・福岡・東京の5ヶ所を巡り、6月14日、東京 Spotify O-EASTでファイナルを迎えました。

各地でしのぎを削ってきた4バンドのそれぞれの最高のライブパフォーマンス、このツアーだからこそ実現することのできた特別なコラボレーションなど、まさに集大成にふさわしい一夜となりました。

つきましては、ライブレポートと写真素材をお送りいたしますので、ぜひ掲載ご検討のほど何卒よろしくお願いたします。

なお、初日の仙台からセミファイナル福岡までの4公演の様態を凝縮した番組をスペシャオンデマンドで、そして、ファイナルとなった東京公演の様態を中心とした番組をスペースシャワー-TVとスペシャオンデマンドにてお届けいたします。

新たな歴史が刻まれた4組のライブと、それぞれのキャラクターが垣間見えるドキュメンタリー映像は必見です！

スペースシャワー-TV&スペシャオンデマンドにて特別番組オンエアが決定！

▼番組情報

番組タイトル：スペースシャワー列伝 JAPAN TOUR 2023 —仙名阪福巡遊紀行—

スペシャオンデマンド 配信期間：7/25(火)19:00～8/24(木)23:59

※本番組は無料配信となります。

※ご視聴には無料会員登録が必要です。支払い登録は不要となります。

番組タイトル：スペースシャワー列伝 JAPAN TOUR 2023 —東京FINAL—

スペースシャワー-TV 放送日程：8/1(火)23:00～24:00

スペシャオンデマンド 配信期間：8/1(火)23:00～8/31(木)23:59

※本番組は無料配信となります。

※ご視聴には無料会員登録が必要です。支払い登録は不要となります。

番組サイト：https://www.spaceshowertv.com/program/special/2308_retsuden.html

東京公演のセットリストプレイリストをSpotifyにて公開中！

<https://open.spotify.com/playlist/35linq0bhCpVNSoC8FJogc?si=6ada0d52b89141d1>

▼イベント概要

スペースシャワー列伝 JAPAN TOUR 2023

出演：カネヨリマサル / 帝国喫茶 / プッシュプルポット / yutori

日程・会場：

6/2(金) 仙台 MACANA

6/6(火) 名古屋 CLUB QUATTRO

6/7(水) 大阪 BIGCAT

6/9(金) 福岡 BEAT STATION

6/14(水) 東京 Spotify O-EAST

主催・企画：スペースシャワー-TV 制作：スペースシャワー-TV / ZA HOLIDAY PRODUCTION

イベント公式サイト：<https://www.spaceshowertv.com/retsuden/tour2023/index.html>

＜本件に関するお問い合わせ先＞

株式会社スペースシャワーネットワーク TEL：03-3585-3202 FAX：03-3585-3258

担当：金子真侑 mkanekeo@spaceshower.net

スペースシャワー列伝 JAPAN TOUR 2023 @Spotify O-EAST ライブレポート

登場を告げるジングルが鳴るたびに沸き起こる歓声、MCに送られる声援や笑い声、そしてバンドサウンドにも掻き消されない大音量のシンガロング——。『スペースシャワー列伝』が"帰ってきた"、そう実感する瞬間ばかりだった。もっとも、"帰ってきた"というのは観る側の視点であって、出演する4バンドにとってはもちろん初めてで、一度きりのツアーだ。その最終公演、進境著しい彼ら／彼女たちの、今この瞬間を刻みつける鮮やかな4本のライブを、Spotify O-EASTで観た。

一番手は帝国喫茶。逆光によるシルエット状態から4声のハーモニーを響かせ始める、「貴方日和」からライブをスタートさせる。グリーンなサウンドと弾むような曲調による和やかな立ち上がりも束の間、2曲目の「季節すら追い抜いて」で、タイトル通りのスピード感とともに歪んだ爆音を開放。荒々しくギターを掻きむしりながら、杉浦祐輝(Gt/Vo)が吠える。「早速ですが……」とyutoriの佐藤古都子(Vo/Gt)を呼び込んで演奏したのは「君が月」だ。杉浦のアカペラの歌い出しにサビで古都子が加わり、そこからは交互に歌ったり歌声を重ねたりと、スケールの大きな楽曲により一層のドラマ性をもたらす。

ソングライターが複数いるバンドだけに楽曲のテイストは様々で、しかも1曲の中でも展開の妙を味わえるのが帝国喫茶の特徴。パンクやエモの爽快感と直球のメロディを持つ「じゃなくて」は、サビ終わりで"第2のサビ"とも呼びたいフレーズが入る変則的な構成が滅茶苦茶効いていた。MC等での掴み所のないキャラクターとは裏腹に、楽曲ではがっかり掴んで離さない。ラストの「春風往来」では杉浦がハンドマイクでステージ端の柵に乗ったり、ステージ上に這いつくばったりと暴れながら歌い、演奏後にはベースの疋田耀までもが力尽きたように倒れ込むほどの、白熱のアクトを展開した。

2番手に登場したyutoriは、古都子のウイスピー混じりの静かな歌い出しから、迫力満点のエッジの効いたサウンドを叩きつける「音信不通」から。原曲よりもバンド感が格段に増した「センチメンタル」を終えると「ツアーファイナル、良い時間を。よろしくどうぞ」と手短かに挨拶して「モロトリアム」に繋ぐ。囁いたり泣くような中低音の歌声に感じる深みからエモーショナルなハイトーンまで、卓越した歌唱力を発揮する佐藤に目が行きがちだが、何度も向かい合って呼吸を合わせながら演奏するバンド全体の音もパフォーマンスも、バンドの醍醐味を体現しまくっていて痛快だ。

即効性の高いサビで始まるキラチューン「君と癖」を終えたところで、古都子のMC。ツアーが始まるまで「他の人というのはしんどいな」と思っていたという彼女は、共にライブを重ねていくうち、他バンドのメンバーと食事に行ったりラウンドワンに遊びに行くまでになつたことを語り、彼らを「大切な人たち」と呼んだ。そして、あと1曲演奏すると自分達の『列伝ツアー』は終わってしまう、まだ終わりがくいと声を震わせる。「わたしたちを『列伝ツアー』に出させてくれてありがとう」という叫びに大きな拍手が送られる中で最終曲「煙より」は、名残惜しさを轟音で押し包み、猛然とかつキレッキレに音を合わせていく名演であった。

3番手はプッシュプルポット。登場するや「みんな、来てくれてありがとう」と笑顔で両手を広げてみせた山口大貴(Vo/Gt)。そこから4人が向き合いジャンと一発ならすやいなや、フロア前方はたちまちモッシュピット状態に変貌した。「こんな日々を終わらせて」に始まり猛スピード&フルスロットルで畳み掛け、それを受けたオーディエンスの投げかけるどデカイ歌声も熱量も、どしり受け止める度量の大きさを感ずるのが良い。「行けるか！」「とが！行こうぜ！」などと度々フロアに投げかける山口は、他にも色々言っていたが、何しろ音がデカイのであんまり聞き取れない。でもそれでいい。それがいい。

カネヨリマサルのちとせみな(Vo/Gt)を呼び込んでコラボした「ダイナマイトラヴソング」で、男女ごとのコール&レスポンスを織り込めたりと盛り上がり拍車をかけた後には、4組がツアーを通して仲良くなっていく過程や、ステージ裏での人間性が見えたことが「めっちゃよかった」と語り、それを「新しい居場所」と形容。その"居場所"のかけがえのなさを、「2011年3月11日、14:46。あの時の歌」との言葉を添えた「13歳の夜」で歌い、そこから「笑って」へと繋いだ展開はこの日のハイライト。決して無責任ではないポジティブティとメッセージは彼らの強烈な推進力だ。ラストスパート……というかずとスパートしていたライブは「最終列車」で締め括られた。

公演ごとに出演順が変わるこの『列伝ツアー』、ファイナルのトリはカネヨリマサルだった。ドラムセット前で集まって一言二言交わしてから、ライブはスタート。話す調子とあまり変わらない平熱なトーンでの弾き語りから始まる「ラクダ」で、3人の音が合わさった瞬間、低重心のバンドサウンドがズドンと放たれる。その迫力とは対照的にメンバーはみな笑顔をのぞかせながら、澁刺とプレイ。フックの効いた歌い出しと歯切れ良いギター、歌うベースにたくましいビートが一体となった「ひらりとパーキー」に続いては、リリースされたばかりの新曲「わたし達のジャーニー」へ。どの曲にも、ある種の人懐っこさとセンチメンタルが入り混じっていてクセになる。

ガラガラのライブハウスでやっていた時代から「わたしたちと一緒に戦ってきた曲」という紹介から「もしも」を、息の合ったアンサンブルと立体的なグルーブで届け、後半へ。憧れのバンドがかつて出ている『列伝ツアー』に出演するのが夢であったこと、それを実現できたことへの感謝を告げたちとせは、これからもずっと夢見て生きようと思う、それはカッコいいバンドでいること、カッコいいバンドをすることなのだ、と宣言。その言葉通りにストレートなギターロック「はしる、夜」まで、勢いよく駆け抜け抜けた。

来年以降の『列伝ツアー』に向け「音楽でバトンを渡して帰ります！」と、アンコールでは「グッドバイ」が演奏された。曲中、ちとせの「全員集合!!」の声に応え、他3バンドのメンバーが、ボーカル勢はマイクを、それ以外はタンバリンやマラカス、小さい太鼓など様々な鳴り物を手に登場。いつの間にかドラムがプッシュの明神竜太郎にチェンジしていたりと、祝祭感いっぱいフィニッシュとなった。

同時代を生きる出演バンドたちが刺激しあい、仲を深め合ったであろうことは、アンコールでの光景やyutori・古都子のMCからも明らかだった。そして4組それぞれの個性と強みが存分に発揮され、「ワンマンだとうなるんだろう？」と気になるライブばかりだった。きっとこれを機に新たなリスナーを獲得し、今後の活動への足がかりとなっていくことだろう。彼らの"いまこの瞬間"、2023年の『列伝ツアー』はあつという間に終わりを迎えたが、それぞれのバンドストーリーはこれからも続く。まだまだ始まったばかりなのである。

文 = 風間大洋

写真 = タカギユスケ

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社スペースシャワーネットワーク TEL : 03-3585-3202 FAX : 03-3585-3258

担当 : 金子真侑 mkaneke@spaceshower.net

スペースシャワー列伝 JAPAN TOUR 2023 出演アーティスト Information

■カネヨリマサル

リリース情報：
6/14(水) Release
digital single『わたし達のジャーニー』
Linkfire <https://kaneyorimasaru.lnk.to/journey>
Music Video <https://youtu.be/DMZGdO3JIW8>

■帝国喫茶

リリース情報：
5/31(水) Release
digital single『季節すら追い抜いて』
Linkfire <https://teikokukissa.lnk.to/top>
MUSIC VIDEO <https://youtu.be/hbYpz1WVQs4>

ライブ情報：
『帝国喫茶 初ワンマンツアー「世界中の街にロマンスを」』
11/18日(土) 大阪 心斎橋BIGCAT
11/19日(日) 香川 高松DIME
11/23日(木・祝) 愛知 名古屋CLUB QUATTRO
11/25日(土) 宮城 仙台CLUB JUNK BOX
11/26日(日) 北海道 札幌SPICE
12/2日(土) 広島 広島SECOND CRUTCH
12/3日(日) 福岡 福岡DRUM Be-1
12/9日(土) 東京 渋谷CLUB QUATTRO
[チケット] ¥3,800 (D代別)
先行受付中：6/15(木)12:00～6/28(水)23:59
<https://eplus.jp/teikokukissa>

■プッシュプルポット

リリース情報：
5/24(水) Release
digital single『不安定少年』
Linkfire <https://orcd.co/pushpullpot>

ライブ情報：
『プッシュプルポット pre. "笑福絶唱FESTIVAL 2023"』
8/4(金) 石川 金沢EIGHT HALL
開場 16:00 / 開演 16:30 (20:30 終演予定)
[出演] プッシュプルポット / ammo / KALMA / ケプラ / Maki
[チケット] 前売 ¥3,800 (D代別)
一般発売：6/17(土)10:00～
<https://eplus.jp/pushpullpot/>

■yutori

ライブ情報：
『yutori 2nd ONEMAN TOUR』
9/8(金) 大阪 UMEDA CLUB QUATTRO
9/16(土) 宮城 JUNK BOX
9/18(月・祝) 愛知 NAGOYA CLUB QUATTRO
10/1(日) 東京 SHIBUYA CLUB QUATTRO
[チケット] ¥3,500 (D代別)
<https://w.pia.jp/t/yutori2023/>

＜本件に関するお問い合わせ先＞
株式会社スペースシャワーネットワーク TEL：03-3585-3202 FAX：03-3585-3258
担当：金子真侑 mkaneko@spaceshower.net